

令和4年度 事業報告書

特別養護老人ホーム貴志川聖アンナの家
聖アンナショートステイサービス

令和 4 年度 事業報告

《目標額及び達成額》

特別養護老人ホーム貴志川聖アンナの家 入所定員 50名

目標額 196,000,000 円

達成額 186,178,453 円 達成率 95.0%

聖アンナショートステイサービス 入所定員 10名

目標額 36,200,000 円

達成額 36,408,269 円 達成率 101%

合計 目標額 232,200,000 円

達成額 222,586,682 円 達成率 95.8%

【目標達成について】

目標を達成できなかった理由が2つあり、まず令和3年度末に発生した新型コロナウイルスクラスター後の入所調整が予想以上に長引いたことが原因である。コロナ感染後の予後が悪く看取りとなるケースや入院退所となるケースが続き、施設に関しては4月、5月、6月と毎月5人の新規入所契約を行ったが、同じく毎月4名の退所者が出る結果となった。またショートステイにおいても本体施設が安定した稼働ができないことから定期利用者を施設入所に移行したことで新規利用者の確保に苦労した。

もう一つの要因としては新規利用相談も多く頂いたが看取り希望の入所相談も多く、入所された同月に死亡退所されるケースも数件あり、以前に比べると入所滞在期間の平均も短くなってきている。新規入所者の確保に合わせて職員の確保も困難な状況であり、建物の老朽化も含め今後の課題となっている。

特 養

(令和4年4月～令和5年3月)

資料1

月別利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	14	16	16	16	16	16	15	16	16	15	15	16	187
女	32	31	32	32	33	38	38	36	36	35	36	34	413
合計	46	47	48	48	49	54	53	52	52	50	51	50	600

要介護度別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
変更申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	7	7	10	9	10	10	11	10	9	7	7	7	104
要介護4	23	24	24	24	25	26	28	29	29	28	29	30	319
要介護5	15	15	13	14	13	17	13	12	13	14	14	12	165
合計	46	47	48	48	49	54	53	52	52	50	51	50	600

月別利用日数・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	1279	1311	1353	1442	1481	1414	1530	1483	1521	1546	1391	1507	17258
稼働率	85.2%	84.5%	90.2%	93.0%	95.5%	94.2%	98.7%	98.8%	98.1%	99.7%	99.3%	97.2%	94.6%

月別目標達成率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	90.0%	85.0%	88.2%	89.8%	92.5%	96.6%	100.7%	99.4%	101.6%	103.7%	95.9%	95.0%

月別入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	5	5	5	0	3	6	4	2	2	0	2	4	38
退所	4	4	0	2	1	5	3	2	2	1	2	4	30

月別利用人数

資料2

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	6	7	5	3	4	2	2	2	3	5	5	5	49
女	10	13	11	10	14	13	10	10	12	8	8	7	126
合計	16	20	16	13	18	15	12	12	15	13	13	12	175

要介護度別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
要介護2	2	3	5	4	4	3	3	2	3	2	2	1	34
要介護3	5	5	5	4	8	4	4	3	4	7	5	5	59
要介護4	4	7	2	3	4	6	5	6	6	4	4	4	55
要介護5	4	4	4	2	2	2	0	1	1	0	2	2	24
合計	16	20	16	13	18	15	12	12	15	13	13	12	175

月別利用日数・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	270	274	235	277	298	278	248	229	252	298	267	276	3202
稼働率	90.0%	88.3%	78.3%	89.3%	96.1%	92.6%	80.0%	76.3%	81.2%	96.1%	95.3%	89.0%	87.7%

月別目標達成率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	132.0%	107.0%	89.0%	95.0%	111.0%	91.0%	96.0%	74.0%	103.0%	107.0%	94.0%	108.0%	月遅れ含
	月遅れ含			月遅れ含			月遅れ含			月遅れ含			月遅れ含

令和4年度 事業報告書

聖アンナケアプランセンター

令和 4 年度実績

目標額＝54,009,000 円

実 績＝55,180,340 円

＋1,171,340 円

達成率＝102.2%

○ 実績について

- ・主任ケアマネ 4 名在籍、一人当たり平均担当件数は 25 件、介護支援費 I 算定、算定月の要介護 3～5（Ⅱ型）の割合 40%以上キープ、その他の特定事業所加算 I の加算要件を満たせたことが達成につながった。
- ・居宅において、新型コロナウイルスによる収入減少はない。

○ 事業運営について

- ・利用者ニーズを捉えた上で、本人の自立、重度化予防を意識したケアマネジメントを実践。各ケアマネジャーに対してのクレームはなく、円滑な事業運営に努めることができた。

○ 具体的な取り組みの結果について

- ・毎月の事業所内研修にバイスティックの 7 原則を必ず取り入れ、地域包括ケア会議の全日程参加、その他、医療介護の連携推進会議への参加等により、知識の習得に向け、ケアマネジャーそれぞれ専門性を高める取り組みを積極的に行っている。

○ その他

- ・新型コロナウイルスによる感染症対策のため、積極的にテレワークを取り入れ業務継続を実施した。
- ・WEB 研修、WEB 会議などにも抵抗なく参加することができた。
- ・今後も安心して質の高いサービス提供を継続し、選ばれる事業所であり続けられるよう努力を重ねる。

※介護給付の部

その他の地域単位 10.00 計算

	介護 給付 請求	介護給付内訳		加 算 内 訳														月請求金額	月遅れ 件数	月遅れ 請求	合計請求 金額
		Ⅰ型 1076単位	Ⅱ型 1398単位	特事Ⅰ 505単位	初回 300単位	加 算 内 訳															
						通院介護Ⅰイ 450単位	通院介護Ⅰロ 600単位	通院介護Ⅱイ 600単位	通院介護Ⅱロ 750単位	入院介護Ⅰ 200単位	入院介護Ⅱ 100単位	通院時通病 50単位	ターミナル 400単位								
4月	246	129	115	244	7	1					3	0	0				¥4,259,440	2	¥34,840	¥4,294,280	
5月	255	136	115	251	7	2					0	1	0				¥4,369,610	4	¥75,680	¥4,445,290	
6月	244	134	110	244	6	0					0	0	1				¥4,230,340	0	¥0	¥4,230,340	
7月	250	138	109	247	7	0					2	0	0				¥4,281,050	3	¥65,870	¥4,346,920	
8月	249	130	117	247	8	0					1	0	1				¥4,308,310	2	¥42,060	¥4,350,370	
9月	255	131	120	251	10	1					0	0	0				¥4,389,210	4	¥81,900	¥4,471,110	
10月	261	132	126	258	9	1					3	0	0				¥4,522,200	3	¥59,870	¥4,582,070	
11月	259	127	126	253	8	0					1	0	0				¥4,431,650	6	¥120,180	¥4,551,830	
12月	260	128	127	255	3	2					2	0	1				¥4,462,990	5	¥97,710	¥4,560,700	
1月	254	125	126	251	3	0					1	0	0				¥4,385,030	3	¥59,650	¥4,444,680	
2月	257	125	128	253	3	1					0	1	0				¥4,426,590	4	¥81,900	¥4,508,490	
3月	262	127	130	257	3	1					2	1	0				¥4,500,270	5	¥100,710	¥4,600,980	
計	3052	1562	1449	3011	74	9	0	0	0	15	3	3	0	0	0		¥52,566,690	41	¥820,370	¥53,387,060	

※委託事業の部

	予防支 援及び ケアマネ ジメントA	初回 300単位	予防請求額 438単位	認定調査件数	調査請求額 ¥3,300	月請求金額		合計請求金額		介護・委託 月合計請求額
4月	36	0	¥157,680	0	¥0	¥157,680		¥157,680	4月	¥4,451,960
5月	35	1	¥156,300	0	¥0	¥156,300		¥156,300	5月	¥4,601,590
6月	34	0	¥148,920	0	¥0	¥148,920		¥148,920	6月	¥4,379,260
7月	38	4	¥178,440	0	¥0	¥178,440		¥178,440	7月	¥4,525,360
8月	36	0	¥157,680	0	¥0	¥157,680		¥157,680	8月	¥4,508,050
9月	36	0	¥157,680	0	¥0	¥157,680		¥157,680	9月	¥4,628,790
10月	36	0	¥157,680	0	¥0	¥157,680		¥157,680	10月	¥4,739,750
11月	34	0	¥148,920	0	¥0	¥148,920		¥148,920	11月	¥4,700,750
12月	32	0	¥140,160	0	¥0	¥140,160		¥140,160	12月	¥4,700,860
1月	32	0	¥140,160	0	¥0	¥140,160		¥140,160	1月	¥4,584,840
2月	30	0	¥131,400	0	¥0	¥131,400		¥131,400	2月	¥4,639,890
3月	27	0	¥118,260	0	¥0	¥118,260		¥118,260	3月	¥4,719,240
計	406	5	¥1,793,280	0	¥0	¥1,793,280		¥1,793,280		

介護・委託 合計

¥55,180,340

※月別目標額

	月 別 目 標	累 計	実績	差額(月単位)
4月	¥4,450,070	¥4,450,070	¥4,451,960	¥1,890
5月	¥4,432,570	¥8,882,640	¥4,601,590	¥169,020
6月	¥4,439,570	¥13,322,210	¥4,379,260	¥-60,310
7月	¥4,502,250	¥17,824,460	¥4,525,360	¥23,110
8月	¥4,504,750	¥22,329,210	¥4,508,050	¥3,300
9月	¥4,499,250	¥26,828,460	¥4,628,790	¥129,540
10月	¥4,574,430	¥31,402,890	¥4,739,750	¥165,320
11月	¥4,562,930	¥35,965,820	¥4,700,750	¥137,820
12月	¥4,569,930	¥40,535,750	¥4,700,860	¥130,930
1月	¥4,490,250	¥45,026,000	¥4,584,840	¥94,590
2月	¥4,492,750	¥49,518,750	¥4,639,890	¥147,140
3月	¥4,490,250	¥54,009,000	¥4,719,240	¥228,990
合計	¥54,009,000		¥55,180,340	¥1,171,340

達成率

102.2%

令和4年度 事業報告書

聖アンナ訪問看護ステーション

聖アンナ老人訪問看護ステーション 事業報告書

1.令和4年度目標額 65,040,000

2.令和4年度達成額 75,221,386

3.目標達成に至った理由について

- ・看護職員数減少のなか、常勤職員4名・非常勤職員3名で対応。月訪問件数760～900件平均に対応そのうち夜間帯の緊急訪問への対応が迅速に対応できたことが要因と考えられる。
- ・医療訪問件数の増加とショートステイ・デイサービスへの医療連携サービスの充実・デイサービスへの緊急時対応もできた。
- ・主治医の緊急依頼にも対応
- ・介護保険対象者への軽度からのサービス利用により病状の悪化時に対応できたことも良かった点である
- ・グループホームへの医療連携やデイサービスへの協力により、利用者様との連携を密にできたことも良かった点である。
- ・コロナ感染者への対応がスムーズに出来た。
- ・自費訪問の対応

4.事業計画の実施について

- ・これからの方向性は医療従事者と利用者様・家族様の双方に医療とは両者の共同作業であるという視点に立ちケアを行う
- ・住み慣れた地域でその人らしく生活し、希望する生き方を選択し在宅での看取りが選べるようにする
- ・個人の尊厳の保持を支えていく
- ・地域に密着した事業所であることを基本とし社会資源の活用等のアドバイスを実施

以上のことを踏まえ、引き続き下記計画に沿って業務を実施。選ばれるステーションを目指す。

- ・訪問看護の更なる普及を目指す。
- ・多様な在宅医療ニーズに対応できるように専門性の深化に努める。
- ・個別ニーズに対応する為利用者様の声に耳を傾け次のサービスへの展開を念頭に置く。
- ・新規利用者さまの獲得に向け、PR活動の強化。
- ・在宅診療に熱心な主治医との連携強化。
- ・研修への積極的参加により質の向上を図る。
- ・新規採用職員の教育により質の向上を図るとともに意欲ある優秀な人材育成に努める。
- ・ショートステイ中の方や小規模多機能型通所介護との連携を深め利用者獲得を図る。
- ・他職種との連携強化→聖アンナ訪問看護の認知度を高める。
- ・緊急時や夜間帯の対応の強化を図り、加算を確実に算定できるようにする。
- ・予防の観点からも早期からの利用の促進を図る→ケアマネへの働きかけ。
- ・24時間、対応できる体制があることや重症者の受け入れを積極的に行い、医療介護のケアマネジメント機能を発揮、地域全体の在宅療養生活の環境整備に貢献していく。
- ・精神科訪問看護の利用者の確保及び増加
- ・理学療法士によるリハビリの援助の拡充を図っていく
- ・保険以外の自費サービスへの対応の強化も図る

聖アンナ訪問看護ステーション実績報告書 R4年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	73	76	74	74	73	72	71	72	74	71	68	74	872
(男)	23	23	23	24	27	27	25	27	25	27	26	29	306
(女)	50	53	51	50	46	45	46	45	49	44	42	45	566
新規利用者	7	4	4	6	5	4	3	4	4	6	3	8	58
	再開	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
利用終了者	死亡	1	3	2	3	2	0	5	6	2	3	7	35
	中止	0	2	0	0	5	4	1	0	0	0	1	13
医療保険(人数)	21	23	24	29	23	21	22	22	23	22	18	25	273
(回数)	332	356	370	463	365	339	381	433	456	396	328	369	4588
介護保険 (人数)	57	58	58	56	55	56	54	53	50	54	51	47	649
(回数)	469	505	522	420	461	457	439	435	434	433	424	414	5413
延べ訪問回数	801	861	892	883	826	796	820	868	890	829	752	783	10001

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	50	53	51	50	46	45	46	45	49	44	42	45	566
平均年齢	87	85	88	88	86	85	85	85	85	86	87	86	86
外	16	15	13	14	12	12	12	12	12	12	12	12	154
西 貴 志 地 区	1	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	2	16
	4	4	4	3	3	2	2	2	3	2	3	3	35
	3	3	3	3	3	3	4	4	5	4	4	5	44
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	8	8	8	8	8	9	9	9	9	7	5	5	93
中 貴 志 地 区	1	2	2	2	1	1	1	1	2	1	1	1	16
	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	46
	2	3	3	3	3	3	2	1	1	1	1	1	24
	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	17
	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
東 貴 志 地 区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	3	4	3	3	3	3	3	4	4	3	2	38
	2	3	3	3	3	3	5	5	5	5	6	5	48
地 丸 区 栖	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	10
介 護 度 別	介護1	4	5	6	5	4	4	3	3	3	3	3	46
	介護2	7	7	6	6	7	6	6	7	7	6	5	76
	介護3	7	7	5	3	3	3	4	6	6	4	5	57
	介護4	11	12	12	14	14	13	12	13	12	13	12	152
	介護5	12	11	11	10	7	7	8	8	5	5	5	96
	医療	12	16	16	18	10	10	12	14	11	9	13	153
	支援1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	支援2	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	11

令和4年度 事業報告書

デイサービスセンターたかお

令和4年度デイサービスセンターたかお事業報告書

1. 4年度目標額：70,000,000円

2. 4年度売上額：56,203,708円

3. 達成率80.2%

4. 目標不達成について

- ・新型コロナ感染予防にて利用中止の利用者が増加。
- ・冬季にかけて、身体が急変され入院、入所、長欠、死亡者が増加。
- ・新規利用者が少なかった。（コロナの影響及び各居宅事業所の依頼減少）

5. 事業計画の実施について

1、通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス

2、年末年始を除く月曜日から土曜日、祝祭日の事業の実施。

3、介護支援専門員の作成する居宅サービス計画を基に、利用者一人ひとりの身体的・精神的状況やニーズを把握し、当事業所にて通所介護計画書を作成し、そのサービスを提供することが出来た。

4、常日ごろから利用者家族と積極的にコミュニケーションをとる事により、信頼関係を築き、お互いに協力し合える環境作りができた。

5、日々のレクリエーションの中で個々の利用者の状況や好みに応じた選択メニューを作り参加して頂く。また、外出行事が出来ない為、新しい行事として、ショッピングに代わる移動ショッピングやクッキングに代わるクッキングショーなどコロナ対策を考えた行事を提供できた。

6、新型コロナウイルス感染拡大に対し、法人全体及び各事業所内においても感染予防の取り組みを実施した。マスク着用の徹底、アルコール消毒、検温チェック、3密回避、アクリル板の設置など。

(デイサービスセンターたかお)

令和４年度 通所介護事業（要介護Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ）集計 令和４年４月１日～令和５年３月３１日迄

区 分	実利用 人数	延利用 人数	利用 延合計	利用人員（月 間）				一日当り 平均人数
				基本事業	入 浴	食 事	実 施 日 数	
4月	41	470	762	470	318	444	26	18.0
5月	45	513	826	513	338	488	26	19.7
6月	45	511	863	511	352	511	26	19.6
7月	45	505	841	505	252	505	26	19.4
8月	41	456	757	456	301	456	27	16.8
9月	38	378	639	378	261	378	22	17.1
10月	42	493	825	493	332	493	26	18.9
11月	41	480	800	480	320	480	26	18.4
12月	41	446	759	446	313	446	25	17.8
1月	58	446	862	446	366	496	21	23.6
2月	47	407	698	407	291	407	24	16.9
3月	47	534	902	534	368	534	27	19.7
合 計	531	5689	9534	5689	3802	5638	302	18.8

(デイサービスセンターたかお)
令和４年度 介護予防通所介護相当サービス事業（事業対象者・要支援１・２）
集計 令和４年４月１日～令和５年３月３１日迄

区 分	実利用 人数	延利用 人数	利用 延合計	利用人員（月 間）			
				基本事業	食 事	実 施 日 数	一日当り 平均人数
4月	16	114	114	114	114	26	4.3
5月	14	100	100	100	100	26	3.8
6月	14	93	93	93	93	26	3.5
7月	15	94	94	94	94	26	3.6
8月	14	81	80	81	80	27	3.0
9月	10	68	68	68	68	22	3.0
10月	13	83	83	83	83	26	3.1
11月	13	87	87	87	87	26	3.3
12月	11	65	65	65	65	25	2.6
1月	11	62	62	62	62	21	2.9
2月	11	60	60	60	60	24	2.5
3月	10	67	67	67	67	27	2.4
合 計	152	971	970	971	970	302	3.1

デイサービスセンターたかお 年間行事表

	行 事	行き先・メニュー	実施日
4月	手芸クラブ	デイフロア	1(水)2(木)4(月)
	春の昼食会	デイフロア	6(水)7(木)8(金)
	職員との懇話会	デイフロア	13(水)14(木)15(金)
	焼きそば祭り	デイフロア	27(水)28(木)29(金)
5月	手芸クラブ	デイフロア	9(月)11(水)12(木)13(土)
	ゲーム大会	デイフロア	4(水)5(木)6(金)
	紅白餅つき大会	デイフロア	19(月)20(水)21(木)
6月	クッキングショー	デイフロア	1(水)2(木)3(金)
	手芸クラブ	デイフロア	11(土)13(月)14(火)
	お楽しみ演芸会	デイフロア	15(水)16(木)17(金)
	紙芝居	デイフロア	22(水)23(木)
7月	手芸クラブ	デイフロア	1(金)2(土)11(月)12(火)
	そうめんバイキング	デイフロア	6(水)7(木)8(金)
	クッキングショー	デイフロア	13(水)14(木)15(金)
	紅白かくし芸	デイフロア	20(水)21(木)22(金)
8月	映画観賞会	デイフロア	3(水)4(木)5(金)
	すごろく大会	デイフロア	10(水)11(木)
	盆踊り大会	デイフロア	17(水)18(木)19(金)
	手芸クラブ	デイフロア	15(月)16(火)24(水)25(木)
9月	手芸クラブ	デイフロア	6(水)7(木)17(土)19(月)
	職員似顔絵大会	デイフロア	14(水)15(木)16(金)
	クッキングショー	デイフロア	28(水)29(木)30(金)
10月	秋の昼食会	デイフロア	5(水)6(木)7(金)
	イントロクイズ	デイフロア	12(水)13(木)14(金)
	手芸クラブ	デイフロア	14(金)17(月)19(水)20(木)
	クッキングショー	デイフロア	26(水)27(木)28(金)
11月	麵屋台昼食会	デイフロア	9(水)10(木)11(金)
	映画観賞会	デイフロア	16(木)17(土)
	室内運動会	デイフロア	23(水)24(木)25(金)
	手芸クラブ	デイフロア	26(土)28(月)31(水)
12月	忘年会	デイフロア	7(水)8(木)9(金)
	たこ焼きパーティー	デイフロア	14(水)15(木)17(土)
	クリスマス会	デイフロア	21(水)22(木)23(金)
	手芸クラブ	デイフロア	3(土)5(月)6(火)
1月	新春行事	デイフロア	4(水)5(木)6(金)
	新年会	デイフロア	11(水)12(木)13(金)
	焼きいも会	デイフロア	18(水)19(木)20(金)
2月	節分行事	デイフロア	3(金)
	手芸クラブ	デイフロア	1(水)2(木)4(土)
	クッキングショー	デイフロア	15(水)16(木)17(金)
3月	初午お菓子まき	デイフロア	1(水)2(木)3(金)
	寿司バイキング	デイフロア	15(水)16(木)17(金)
	クッキングショー	デイフロア	29(水)30(木)31(金)

※毎月の行事

移動ショッピング、クッキングショー、てくてく体操

令和4年度 事業報告書

グループホームたかお

グループホームたかお 令和4年度事業報告書

1.令和4年度目標額 36,142,000 円

2.令和4年度達成額 19,199,056 円

53.1%

3.目標不達成について

- 令和4年9月をもって、事業休止の為。

4.事業計画の実施について

(1)運営推進会議の開催について

今年度につきまして、新型コロナウイルス感染拡大予防として、ホームでの開催は中止し、年5回の資料を紀の川市に提出しました。

(2)地域参加について

今年度につきまして、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、屋外での行事は中止しました。

(3)レクリエーションの充実

個人に合ったレクリエーションの提供について、書道教室やカラオケ大会、お誕生日会など実施しました。

(4)ボランティアの活用

今年度につきまして、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、面会禁止もあり、全面中止しました。

(5)地域密着型外部評価サービス

今年度、外部評価は実施しておりません。

入居者状況

(R4年4月～R5年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	3	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	18
女	6	6	6	6	6	6	0	0	0	0	0	0	36
合計	9	9	9	9	9	9	0	0	0	0	0	0	54

要介護度別状況

(R4年4月～R5年3月)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	12
要介護 2	3	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	18
要介護 3	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	6
要介護 4	3	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	18
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	9	9	9	9	9	0	0	0	0	0	0	54
平均	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6							1.3

令和4年度 事業報告書

特別養護老人ホームきしがわ園

令和4年度 特別養護老人ホームきしがわ園 事業報告書

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 令和4年度目標額 | 147,000,000 円 |
| 2. 令和4年度達成額 | 145,316,972 円 |
| 3. 目標額に対しての達成率 | 98.8% |

4. 目標未達成について

今年度は利用日数10,587床で内、空床は363床となっている、短期入所生活介護の空床利用は内2床となっている。目標は10,950床であった。年間30床がすべて満床としての稼働率は96.7%で目標を下回った。計画での平均介護度3.7であったが、実績では、3.8と上回った。空床について前年度は250床であったが、令和4年度は363床と増加した。

内訳として入院による空床が141床（前年度144床）、退所後の入所までの空床が222床（前年度115床）であった。今年度の入所者は11名として、1名平均20日で入所となっている。稼働率が目標以上にあがらなかった要因として、入院による空床については、入院日数が前年度より下がったものの、30名の内、何らかの疾患を抱えている入居者については入院日数が年間4ヶ月超になってしまうという現実がある。待機者も減少していること。そして、コロナ禍で入所の調整に要した日数も多かった。前年と同様に次点の待機者に声掛けしても入院中であったり、他の施設へ入所していたりと入所までに日数がかかったケースでは、タイミングの問題もあった。

また令和4年度の予想額で目標に挙げた加算について、4月からの新規ソフト（ほのぼの）導入により、目標通りに算定することができた。

空床利用については、短期入所の稼働が埋まらなかったため、2床のみの活用であった。来年度は空床期間を短くし、前年度目標同様にスムーズに入居できる様に退所者の的確な状況把握とその兆候を予測。また、事前に家族・ケアマネとのコミュニケーションを密にし、調整を図っていく。それに伴い稼働率をより上げていくことが重要である。今後もコロナ感染が予測されるが、感染対策を万全にし、なるべく空床を最小限にすることで、コロナの影響を受けないような施設運営を目指していきたい。

5. 事業計画の実施について

サービス内容

- ① 食事については入居者の栄養状態を適切にアセスメントし、その状態に応じて栄養ケアマネジメントが行われ、嗜好・形態を考慮した食事を提供できた。管理栄養士が異動で交代したが、業務にも慣れ、来年度から加算も算定していくこととする。
- ② 入浴については入居者の身体の清潔保持とともに精神的にリラックスできる時間を過ごして頂けるよう、安全かつ快適な入浴を行った。コロナ感染等や体調不良等で入浴できない場合は清拭での対応を行った。
- ③ レクリエーション、行事については依然としてコロナ禍が継続している状況であり、屋内で最小限で入居者が楽しく過ごして頂けるよう努めた。また、外出行事等については今年も前年度に引き続きコロナ禍のために実施できなかった。
- ④ 介護計画書については入居者個人の介護計画書に沿ったサービスの提供を行い、多職種協働で介護計画書の作成・見直しを行った。
- ⑤ 緊急時の対応について看護職員、嘱託医師との連携、家族への連絡体制確保により急変時の対応や救急搬送を速やかに行うことができた。

6. 家族との連携

入所時の契約には重要事項説明書等を用いて説明を十分に行い、事故発生のリスクとその対応についても十分に説明を行い、同意を得て契約を行った。普段の連携については、新型コロナ禍であったが、電話連絡・差し入れ等の窓口での応対時に連絡発信を行い、できる限り密な連携に努めた。

7. 虐待防止

施設内で全介護職員を対象に、身体拘束・高齢者虐待防止のビデオ研修や教育を実施した。法制度・介護技術・認知症への理解、職員のストレス対策、虐待事案が発生した場合の迅速な報告体制の整備などに取り組んでいる。

8. 苦情処理

苦情相談窓口の設置により苦情に対しての対応を円滑・円満に行う事ができ、苦情の解決、再発の防止に努めた。

9. リスクマネジメント

緊急事態発生時は入居者の家族、市町村に迅速に連絡を行うとともに、事故後はその入居者、家族に対して職員は誠意を持って対応し、事故原因の究明と再発防止策を早急に検討、実施、事故防止、安全・リスク委員会を活用し、改善策の周知徹底を図る体制を整備。また、入居者の介護度の重度化、事故対策検討会議の定期的開催により1つ1つの事故対策を講じた事、ヒヤリハットによる要因分析等により事故が未然に防げるように努めた。

10. 職員の資質向上

職員の積極的な内部研修や外部研修（コロナ禍のため、オンラインによる研修に参加）の参加を図る事により、常に新しい情報や介護技術を習得し、職員の資質向上に努め、施設全体の介護サービスの質の向上に努めた。

11. 法令順守の徹底

権利擁護・人権研修の実施により、一人ひとりの意識にコンプライアンス精神や倫理を根付かせ、基本的人権を尊重し尊厳あるケアを目指すことに努めた。

12. 地域との連携・交流

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症のため、ボランティアや実習生等の受け入れ、外出行事は中止した。そのために、地域との連携・交流については行えていない。

13. 運営推進会議の開催

令和4年度も新型コロナウイルス感染症流行で、入居者への感染を抑えるために施設内への立ち入りは制限した。そのために運営推進会議は年間を通して非開催となった。それに伴い2ヶ月に一回、間接的に文書での活動状況を報告し、必要な要望・助言等を頂けるように努めた。

今後も入居者、家族との信頼関係の構築に努め、かつ職員の質の向上、介護主任の統括化で個人を尊重した介護の統一（きしがわ園1F, 2F 3F 全体）により、入居者が安心して楽しく過ごしていただけるように努めたい。

以上

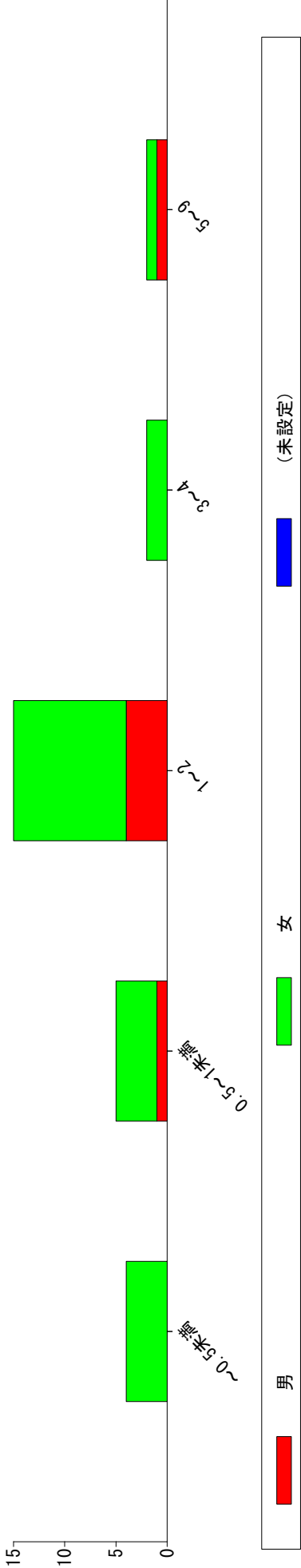
年間行事実績報告書（令和４年度）

月 日	行事	参加人数
4月20日	びゅあカット	13人
〃	ケーキの日	28人
5月18日	びゅあカット	7人
〃	ケーキの日	29人
6月15日	びゅあカット	12人
〃	ケーキの日	29人
7月20日	ケーキの日	30人

月 日	行事	参加人数
8月17日	ケーキの日	30人
9月21日	ケーキの日	28人
10月19日	ケーキの日	29人
〃	びゅあカット	10人
10月24日	びゅあカット	10人
10月31日	びゅあカット	10人
11月16日	ケーキの日	30人

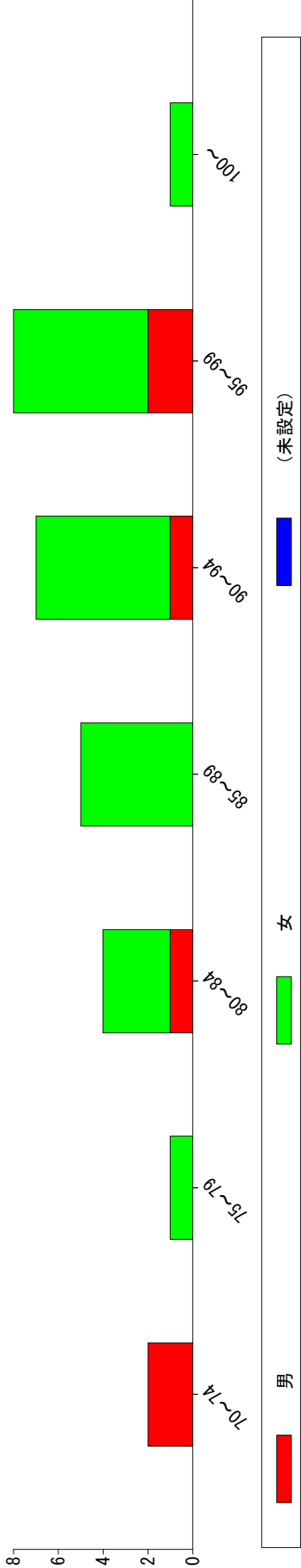
月 日	行事	参加人数
12月21日	ケーキの日	30人
1月18日	ケーキの日	30人
2月14日	びゅあカット	8人
2月15日	びゅあカット	10人
〃	ケーキの日	30人
2月17日	びゅあカット	9人
3月15日	ケーキの日	30人

在所期間別人数



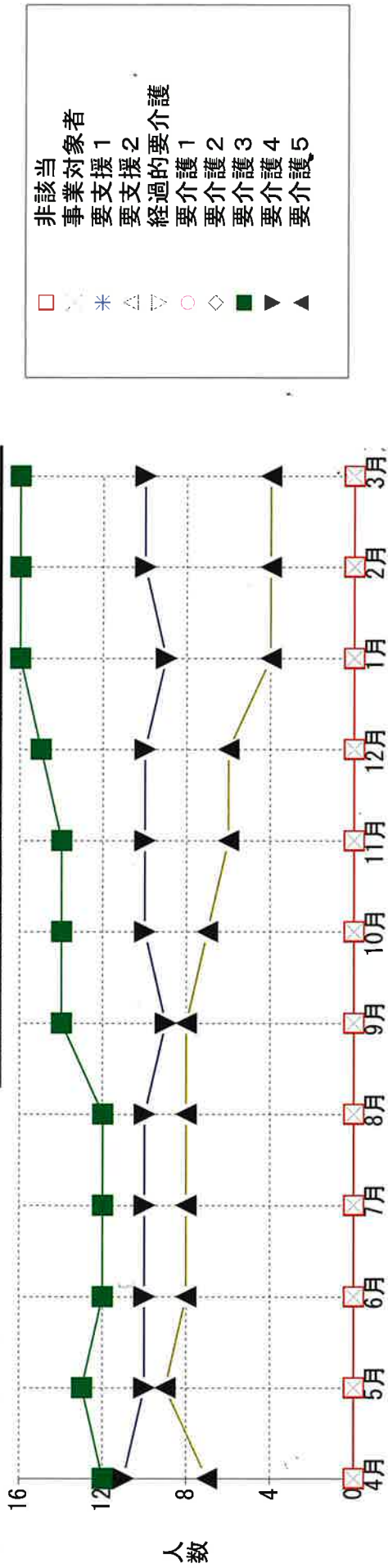
	~0.5未満	0.5~1未満	1~2	3~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~	(合計)
男		1	4		1					6
女	4	4	11	2	1					22
(未設定)										
(合計)	4	5	15	2	2	2				28

年齢別利用者数



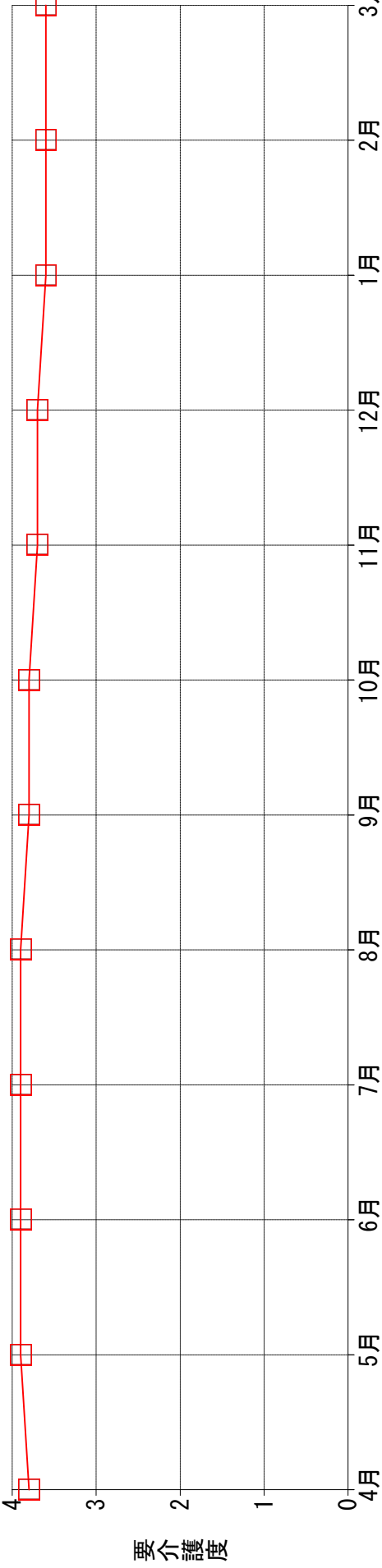
	~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~
男					2		1		1	2
女						1	3	5	6	6
(未設定)										1
(合計)					2	1	4	5	7	8
(合計)										
男	6									
女	22									
(未設定)										
(合計)	28									

要介護度別利用者数（スケジュール）



適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
適	要介護3	男	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	55
		女	8	9	8	8	8	9	9	9	10	11	11	11	111
		合計	12	13	12	12	12	14	14	14	15	16	16	16	166
適	要介護4	男	4	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	30
		女	7	7	7	7	7	7	8	8	8	7	8	8	89
		合計	11	10	10	10	10	9	10	10	10	9	10	10	119
適	要介護5	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9
		女	6	8	7	7	7	7	6	5	5	4	4	4	70
		合計	7	9	8	8	8	8	7	6	6	4	4	4	79
	総合計(人)	男	9	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	94
		女	21	24	22	22	22	23	23	22	23	22	23	23	270
		合計	30	32	30	30	30	31	31	30	31	29	30	30	364

(注1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出しています。



適	項目	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
適	平均要介護度	男	3.7	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.3	3.3	3.3	3.5
		女	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7	3.8
		平均	3.8	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	3.8

(注1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しています。

令和4年度 事業報告書

地域密着特別養護老人ホームきしがわ園

令和4年度 地域密着特別養護老人ホームきしがわ園 事業報告書

1. 令和4年度目標額 83,500,000 円
2. 令和4年度達成額 77,684,042 円
3. 目標に対しての達成率 93%

4. 目標達成について

今年度は利用日数6,979床で内、空床は321床となっている、短期入所生活介護の空床利用は内158床となっている。年間20床がすべて満床としての稼働率は95.6%である。計画の目標平均介護度は4.2であったが、実績での平均介護度も目標通りの4.2であった。

平均介護度が目標通りであったが、計画での目標稼働率は98%で、実績では95.6%と下回ったことと空床利用の利用者（保険者が岩出市のため、地域に入居できない。）をショートの実績にカウントしたことが、達成率93%の要因と考える。

空床は前年度44床であったが、令和4年度は321床と大幅に増加。内訳として入院による空床が129床（前年度27床）、退所後の入所までの空床が192床（前年度17床）であった。最大要因として、令和5年1月発生の新型コロナウイルス感染症クラスターによる入院数が増加したことがあげられる。1月、2月で91日の入院による空床があった。また、感染者が入院したまま退所したり、また感染後の後遺症により退所になったケース等で次の入居者までの空床が増大した。このようにコロナの影響が顕著となった。

今年度新規入所者8名の内訳は、聖アンナの家からの入所が1名。きしがわ園ショートロングステイから2名。2Fユニットからの入所が3名。他の居宅介護支援事業所から2名であった。新規入所者について、待機者に声をかけてもすぐに入居にならないことやすでに他の施設へ入居していることで、自施設のユニットから1Fへの移動せざるをえなかったこと等がある。空床利用については、短期入所についても、当施設初めての1Fコロナクラスターにより、保健所の指示で利用者の受け入れを休止したため、稼働率が減少し、空床利用までには至らなかった。来年度は空床期間を短くし、前年度目標同様にスムーズに入居できる様に退所者の的確な状況把握とその兆候を予測。また、事前に家族・ケアマネとのコミュニケーションを密にし、調整を図っていく。それに伴い稼働率をより上げていくことが重要である。今後もコロナ感染が予測されるが、感染対策を万全にし、なるべく空床を最小限にすることで、コロナの影響を受けないような施設運営を目指していきたい。

5. 事業計画の実施について

サービス内容

- ① 食事については入居者の栄養状態を適切にアセスメントし、その状態に応じて栄養ケアマネジメントが行われ、嗜好・形態を考慮した食事を提供できた。管理栄養士が異動で交代したが、業務にも慣れ、来年度から加算も算定していくこととする。
- ② 入浴については入居者の身体の清潔保持とともに精神的にリラックスできる時間を過ごして頂けるよう、安全かつ快適な入浴を行った。コロナ感染等や体調不良等で入浴できない場合は清拭での対応を行った。
- ③ レクリエーション、行事については依然としてコロナ禍が継続している状況であり、屋内で最小限で入居者が楽しく過ごして頂けるよう努めた。また、外出行事等については今年も前年度に引き続きコロナ禍のために実施できなかった。
- ④ 介護計画書については入居者個人の介護計画書に沿ったサービスの提供を行い、多職種協働で介護計画書の作成・見直しを行った。
- ⑤ 緊急時の対応について看護職員、嘱託医師との連携、家族への連絡体制確保により急変時の対応や救急搬送を速やかに行う事ができた。

6. 家族との連携

入所時の契約には重要事項説明書等を用いて説明を十分に行い、事故発生のリスクとその対応についても十分に説明を行い、同意を得て契約を行った。普段の連携については、新型コロナ禍であったが、電話連絡・差し入れ等の窓口での応対時に連絡発信を行い、できる限り密な連携に努めた。

7. 虐待防止

施設内で全介護職員を対象に、身体拘束・高齢者虐待防止のビデオ研修や教育を実施した。法制度・介護技術・認知症への理解、職員のストレス対策、虐待事案が発生した場合の迅速な報告体制の整備などに取り組んでいる。

8. 苦情処理

苦情相談窓口の設置により苦情に対しての対応を円滑・円満に行う事ができ、苦情の解決、再発の防止に努めた。

9. リスクマネジメント

緊急事態発生時は入居者の家族、市町村に迅速に連絡を行うとともに、事故後はその入居者、家族に対して職員一同誠意を持って対応し、事故原因の究明と再発防止策を早急に検討、実施、事故防止、安全・リスク委員会を活用し、改善策の周知徹底を図る体制を整備した。

入居者の介護度の重度化、事故対策検討会議の定期的開催により1つ1つの事故対策を講じた事、ヒヤリハットによる要因分析等により事故が未然に防げるように努めた。

10. 職員の資質向上

職員の積極的な内部研修や外部研修（コロナ禍のため、オンラインによる研修に参加）の参加を図る事により、常に新しい情報や介護技術を習得し、職員の資質向上に努め、施設全体の介護サービスの質の向上に努めた。

11. 法令順守の徹底

権利擁護・人権研修の実施により、一人ひとりの意識にコンプライアンス精神や倫理を根付かせ、基本的人権を尊重し尊厳あるケアを目指すことに努めた。

12. 地域との連携・交流

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症のため、ボランティアや実習生等の受け入れ、外出行事は中止した。そのために、地域との連携・交流については行えていない。

13. 運営推進会議の開催

令和4年度も新型コロナウイルス感染症流行で、入居者への感染を抑えるために施設内への立ち入りは制限した。そのために運営推進会議は年間を通して非開催となった。それに伴い2ヶ月に一回、間接的に文書での活動状況を報告し、必要な要望・助言等を頂けるように努めた。

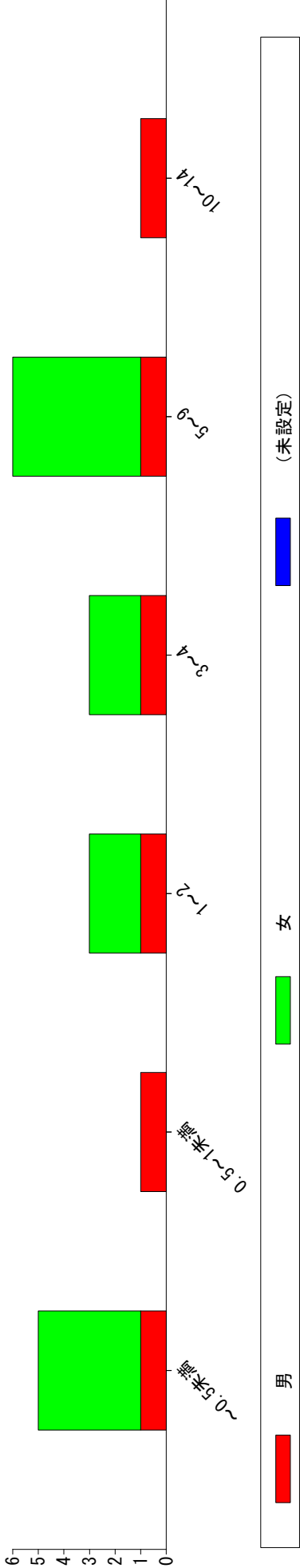
今後も入居者、家族との信頼関係の構築に努め、かつ職員の質の向上、介護主任の統括化で個人を尊重した介護の統一（きしがわ園1F, 2F 3F 全体）により、入居者が安心して楽しく過ごしていただけるように努めたい。

以上

地域密着しがわ園

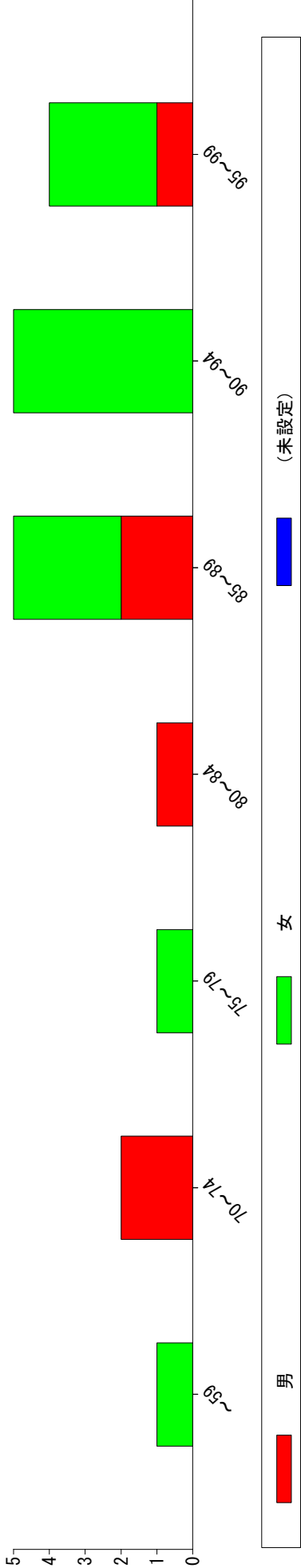
[illegible][illegible]

在所期間別人数



	～0.5未満	0.5～1未満	1～2	3～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～	(合計)
男	1	1	1	1	1	1				6
女	4		2	2	5					13
(未設定)										
(合計)	5	1	3	3	6	1				19

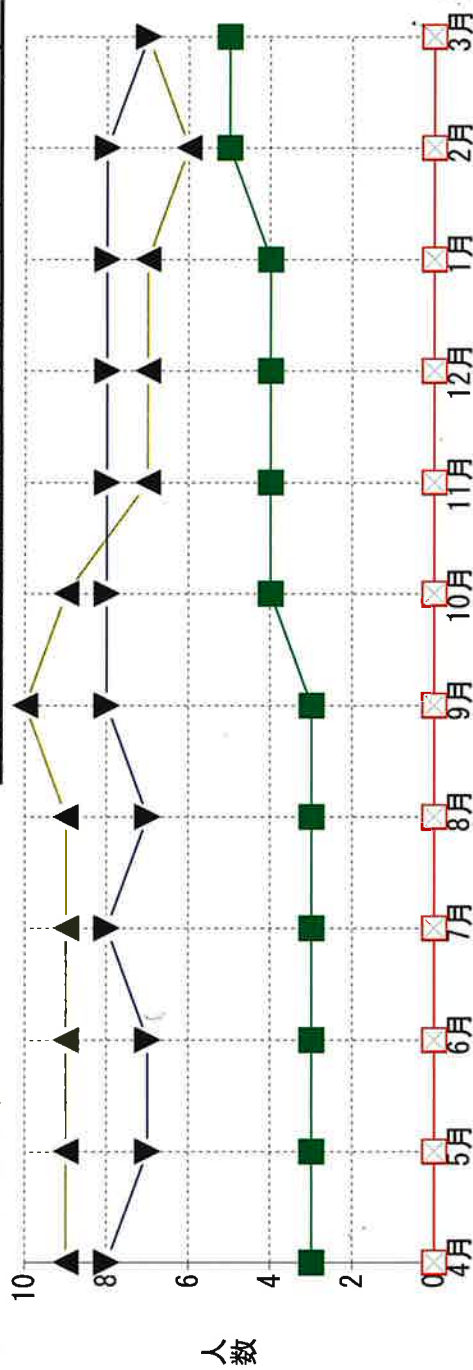
年齢別利用者数



	~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~
男				2		1		2		1
女	1				1			3	5	3
(未設定)										
(合計)	1			2	1	1	1	5	5	4
(合計)										
男	6									
女	13									
(未設定)										
(合計)	19									

要介護度別利用者数（スケジュール）

令和 4年度 実人数

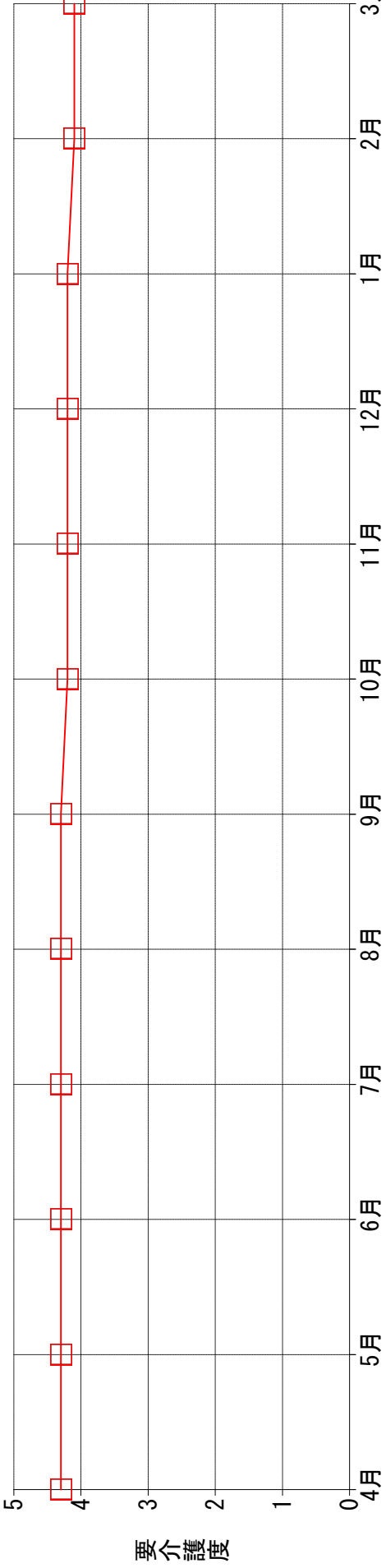


非該当
事業対象者
要支援1
要支援2
経過的要介護
要介護1
要介護2
要介護3
要介護4
要介護5

□ △ ▼ ◆

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
適	要介護3	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		女	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	32
		合計	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	44
適	要介護4	男	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	45
		女	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	47
		合計	8	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	7	92
適	要介護5	男	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		女	8	8	8	8	8	9	9	6	6	6	5	6	86
		合計	9	9	9	9	9	10	10	7	7	7	6	7	98
	総合計(人)	男	6	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	69
		女	14	14	14	14	14	15	15	13	13	13	13	13	165
		合計	20	19	19	20	20	21	21	19	19	19	19	19	234

(注1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出しています。



適	項目	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
適	平均要介護度	男	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
		女	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2	4.2	4.1	4.2	4.3
		平均	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.2

(注1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しています。

令和4年度 事業報告書

きしがわ園ショートステイサービス
第2 きしがわ園ショートステイサービス

令和4年度 きしがわ園ショートステイサービス 事業報告書

1.令和4年度目標額 70,030,000 円

令和4年度達成額 77,969,701 円

111.3%

2.目標達成について

令和4年12月後半から令和5年2月前半にかけて、新型コロナクラスター発生により、利用者の受け入れを休止せざるを得ない状況となり、その間の利用者数減少が目標金額に大きく影響した。

受け入れ休止の間も空床を利用し利用者を獲得した事と、6月～8月にかけて1名、10月から1名、第2ショートを利用する事でショートステイとしての稼働率が上がっているものとする。

今後の課題として、新型コロナウイルスの感染状況により利用者の減少や、クラスター発生によって利用予定であった新規利用者や、定期利用者が他事業所へ移ってしまうといった問題点が挙げられる。

引き続き感染対策を徹底すると共に、居宅介護支援事業所や病院との連携を密に行い、新規利用者の獲得に力を入れていきたい。

又、令和4年度のロング利用者からの当施設への入所者は7名である。その他にも他施設入所や死亡退所も含めると、12名のロング利用者が退所となっており、ロング利用者を安定して獲得していくことで稼働率を上げていくことを目標としていく。ロング利用者獲得により、入所へのスムーズな移行も目的とする。

目標額達成という結果に至ったが課題は多く残っていると考えており、安定した稼働率と新規利用者獲得を引き続き目指していきたい。

3.事業計画の実施について

(1) 食事サービス

委託業者と月1回の給食会議の中で、意見を出し合い、情報共有を行う事で嗜好・形態を考慮した食事を提供できた。

管理栄養士との連携により、利用者の健康状態に応じた食事形態を提案、小まめに調整することが出来、一人一人に合わせた栄養ケア、食事面でのマネジメントが行えていると考える。

(2) 家族との連携

新型コロナ禍にあり、直接家族と会う機会が少なかったが、電話連絡を中心に、LINE等のSNSを活用しながら、利用中の様子や体調面を細かく伝えることで、安心感を持って頂けるように心掛けた。

又、家族が感じている疑問や不安な部分を聞き取り、利用者だけではなく家族にも寄り添ったケアを目指し、信頼関係を築けていけるよう努めた。

(3) 機関・他事業所との連携

地域包括支援センター・居宅介護支援事業所からの相談に対して、迅速かつ丁寧に対応し、利用者のショート利用につなげることが出来た。新型コロナ過にあるため事業所への訪問はほとんど叶わなかったが、電話にて小まめな状況報告を行う事で、より良い連携が取れたと考える。

今後は新規利用者獲得に向け、今以上に関係作りが必要であると考えており、新型コロナウイルス感染状況に応じて事業所への訪問を行い、より一層信頼関係の構築と連携を行っていくべきである。

(4) 身体拘束ゼロ

施設内で全介護職員を対象に、身体拘束・高齢者虐待防止のビデオ研修や教育を実施し、身体・心理的拘束を行わない為の取り組みを行った。引き続き、定期的な研修やミーティングでの周知徹底、職員に対するストレス対策を行い身体拘束ゼロを目指していく。

(5) 苦情処理

ケアの内容に対する苦情や、ショート利用中の褥瘡の発生や悪化に伴う苦情が数件あった。

介護主任を中心に、再度ケア方法の検討、改善対策を行い、家族様や担当ケアマネージャーへの説明を迅速・適切に行うよう対応した。

又、職員に対してはフィードバックや指導を行い、ポジショニングクッションの購入等、同様の事が起こらないような対策を取り入れた。

日頃から利用者、家族、担当ケアマネージャ、連携医療機関等と小まめに連携を取り、細かな問題要素を迅速に汲み取って改善していく事、前もって対応策の検討や予防を行っていくことが必要であると感じた。

(6) リスクマネジメント

新型コロナウイルスにおいて、クラスター発生時にはマニュアルの掲示、情報収集を行い、迅速なクラスター終息に努めた。

介護事故等を未然に防ぐ為、事故防止委員会を設置し、定期的な委員会開催時にヒヤリハット、事故報告書の検証を行った。又、各階のミーティングにて職員への情報共有を行い、事故防止に取り組んでいる。

(7) 職員の資質向上

内部研修への積極的な参加により、新しい情報や介護技術の習得と職員の資質向上に努めた。

個人だけではなくミーティング時に各職員へ周知する事で連携と施設全体の介護サービスの質の向上を目指している。

今後の課題として、新型コロナウイルスの感染状況に応じて、積極的な外部研修などにも参加し、今以上の介護技術向上を目的として取り組んでいく。

(8) 法令順守、及び高齢者権利擁護、虐待防止の徹底

権利擁護・人権研修の実施により、職員の意識向上、コンプライアンス精神や倫理を根付かせ、基本的人権を尊重し尊厳あるケアを目指すことに努めた。

以上

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
適	非該当	男													
		女													
		合計													
適	事業対象者	男													
		女													
		合計													
適	要支援 1	男													
		女													
		合計													
適	要支援 2	男													
		女													
		合計													
適	経過的要介護	男													
		女													
		合計													
適	要介護 1	男				1	1	1			1	1	1	1	5
		女	2	1	2	1	2	2	2	1				1	14
		合計	2	1	2	2	2	3	2	1	1	1	1	1	19
適	要介護 2	男				1	1						1	1	3
		女	9	11	12	9	6	5	5	6	7	3	2	3	78
		合計	9	11	12	10	6	5	5	6	7	3	3	4	81
適	要介護 3	男	6	6	6	6	5	6	7	6	6	5	4	5	68
		女	6	7	6	7	9	9	9	10	8	4	10	10	95
		合計	12	13	12	13	14	15	16	16	14	9	14	15	163
適	要介護 4	男	2	2	2	1	3	2	2	2	2			1	19
		女	2	3	3	4	3	5	3	3	3	3	2	2	36
		合計	4	5	5	5	6	7	5	5	5	3	2	3	55
適	要介護 5	男	2	1	1	1	1	1	1	2	2		1	2	15
		女	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	20
		合計	4	2	2	2	2	2	3	4	4	2	3	4	35
適	総合計(人)	男	10	9	9	10	9	10	10	10	11	6	7	9	110
		女	21	23	24	22	21	23	21	22	20	12	16	18	243
		合計	31	32	33	32	30	33	31	32	31	18	23	27	353

(注1) 該当月末日時点では有効な要介護度より算出しています。

年間要介護度別利用日数

令和 4年度

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
適	非該当	男													
		女													
		合計													
適	事業対象者	男													
		女													
		合計													
適	要支援 1	男													
		女													
		合計													
適	要支援 2	男													
		女													
		合計													
適	経過的要介護	男													
		女													
		合計													
適	要介護 1	男				6		12			3	1	6		28
		女	24	4	6	4	6	6	5	4				4	63
		合計	24	4	6	10	6	18	5	4	3	1	6	4	91
適	要介護 2	男				6							1	3	10
		女	130	155	154	149	130	99	101	98	76	58	30	58	1238
		合計	130	155	154	155	130	99	101	98	76	58	31	61	1248
適	要介護 3	男	113	120	126	139	122	128	130	113	103	118	85	95	1392
		女	81	65	79	107	136	114	145	125	116	92	137	162	1359
		合計	194	185	205	246	258	242	275	238	219	210	222	257	2751
適	要介護 4	男	11	10	4	2	9	12	21	4	10			9	92
		女	25	38	37	49	37	48	40	44	64	64	56	58	560
		合計	36	48	41	51	46	60	61	48	74	64	56	67	652
適	要介護 5	男	17	12	8	5	9	10	5	15	22		5	18	126
		女	49	31	30	31	31	39	62	60	62	62	56	35	548
		合計	66	43	38	36	40	49	67	75	84	62	61	53	674
	総合計(日)	男	141	142	138	158	140	162	156	132	138	119	97	125	1648
		女	309	293	306	340	340	306	353	331	318	276	279	317	3768
		合計	450	435	444	498	480	468	509	463	456	395	376	442	5416

(注 1) 該当月末日時点では有効な要介護度より算出しています。(注 2) 退所日は日数には含みません。

利用者平均要介護度

適	項目	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
適	平均要介護度	男	3.5	3.4	3.5	2.9	3.5	2.9	3.3	3.7	3.5	2.7	2.9	3.8	3.3
		女	2.6	2.7	2.6	2.8	2.8	2.9	2.9	2.9	3.0	3.3	3.3	3.1	2.9
		平均	2.9	2.9	2.9	2.8	3.0	2.9	3.0	3.2	3.1	3.1	3.1	3.3	3.0

(注1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しています。

令和4年度 事業報告書

デイサービスセンターきしがわ園

令和 4 年度デイサービスセンターきしがわ園事業報告書

1. 4 年度達成額：38,249,591 円

2. 4 年度目標額：43,006,800 円

3. 達成率： 88.9%

4. 目標未達成について

新型コロナウイルス感染症によるクラスター発生のため、事業所の 1 か月間の営業中止が大きく影響した。営業中止期間中に他事業所への振替利用にて他事業所に変更される方や、営業再開に至っても、感染リスクを気にされ利用を控える利用者様がおられ営業実績の低迷となった。また、自宅での転倒による長期入院、ショートステイ利用増・ロングショートステイによる利用中止が稼働率低下の要因である。新規獲得については、下半期より増加傾向となっており、契約に繋がってはいるものの、他事業所へ移られた利用者様の補填にまでは届いていない状況。

5. 事業計画の実施について

1、通所介護事業・介護予防通所介護事業・日中一時支援事業（障害サービス）。

2、年末年始を除く月曜日から土曜日、祝日の事業の実施。

定員 25 名

3、介護支援専門員の作成する居宅サービス計画を基に、通所介護計画書及び通所介護予防計画書を作成し、利用者一人ひとりの身体状況・精神状況やニーズを把握した上で、そのサービスが適切かつ個別的に居宅サービス計画に沿ったサービス提供ができた。その結果、プロセス評価・結果評価ができ、見直しを行い再アセスメントができた。生活機能向上連携では、専門職の指導により行い評価に繋がった。

4、利用者様のご家族にとっても心身のゆとりが持てる時間を提供でき、またご家族が安心して利用者様を当事業所に任せて頂けるよう、ご家族に対しても常日頃から積極的にコミュニケーションをとる事で、更に当事業所と利用者・ご家族様との良好な信頼関係を築き、お互い協力し合える環境を作るように努めた。

ご家族の急な利用日や時間変更にも迅速に対応した。また、新型コロナウイルスによる営業中止期間中、他事業所への利用を拒否される利用者様に関しては、家族様・介護支援専門員と連携し訪問入浴サービスの実施を試みた。結果、家族様・利用者様には好評を得る事が出来た。

- 5、一括したレクリエーションだけでなく、音楽療法・介護体操・作業療法を加えることで自立支援に向けた。コロナ禍の中、四季折々の行事など行い、他者との交流の場を提供することで気分転換して頂いた。(新型コロナウイルス感染対策考慮の上、地域のボランティアの活用及びクッキングは中止)
- 6、利用者様の自立支援に向けて、利用者毎の困難な部分を把握して作業療法を実施し、職員による歩行訓練・集団体操を積極的に行うことができた。専門分野では、貴志川リハビリテーション病院と連携をし、生活機能連携向上加算も算定しており、理学療法士による機能訓練を行うことができた。(コロナ感染状況に応じての実施)
また、低栄養状態の改善に向け食事形態などの考慮など栄養士や職員、ケアマネジャーやご家族とも連携し栄養改善に努めています。また嗜好調査も行い、食事の提供もさせて頂いています。利用者様一人ひとりに合った口腔ケアは実施できていますが、自宅でも適切な口腔ケアができるよう支援や指導を努めた。
- 7、通所介護事業所の職員としての専門性を高める為、より良いサービスを提供できるよう情勢に合わせ、内部研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。
- 8、事故対応については迅速に対応し、事故を回避する為に報告書等を作成し、報告内容を基に職員間でPDCAサイクルを活用し、利用者様やご家族の信頼回復に努めた。危険予知トレーニングなどの勉強会内容の再確認を行い、リスクマネジメント「介護中に起こり得る事故をあらかじめ予測しておくことで、可能な限り未然に防ぐこと」の徹底に努めるようにした。
- 9、デイサービスの今後の展開について
積極的に受け入れ顧客数の獲得を目指していますが、数値的目標管理と適切なコスト管理の推進、稼働率アップのための取り組みを行うためにも、イベントなど一過性にならないように行い、社会資源を活用した余暇活動を企画して心身機能の維持向上を図れるよう、組織内の連携及び業務内容の検討・見直しを行い、介護・予防の新規利用者の発掘と獲得に努めていく。また、ご利用者家族様からのご紹介により新規獲得もあり、ご利用者・ご家族とのコミュニケーションも大切にしていく。

要介護度別利用者数（スケジュール）

令和 4年度 実人数

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
適	非該当	男													
		女													
		合計													
適	事業対象者	男													
		女													
		合計													
適	要支援 1	男													
		女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
		合計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
適	要支援 2	男	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1			19
		女	2	1	1	1	1	1							7
		合計	4	3	3	3	3	3	2	2	2	1			26
適	経過的要介護	男													
		女													
		合計													
適	要介護 1	男	2	2	1	3	3	3	2	2	2	1	3	3	27
		女	4	5	4	5	5	4	5	5	6	1	4	4	52
		合計	6	7	5	8	8	7	7	7	8	2	7	7	79
適	要介護 2	男	5	5	5	5	4	4	4	4	4	2	3	3	48
		女	7	9	10	10	7	7	9	10	9	6	7	7	98
		合計	12	14	15	15	11	11	13	14	13	8	10	10	146
適	要介護 3	男	2	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	36
		女	7	7	8	8	9	10	10	8	8	4	8	8	95
		合計	9	10	11	11	13	13	13	11	11	7	11	11	131
適	要介護 4	男	6	5	4	5	4	3	3	4	4		4	4	46
		女	3	2	3	3	3	3	3	3	2	2	2	3	32
		合計	9	7	7	8	7	6	6	7	6	2	6	7	78
適	要介護 5	男							1	1	1	1	1	1	5
		女	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1	10
		合計	1	1	1	1		1	2	2	2		2	2	15
	総合計(人)	男	17	17	15	18	17	15	15	16	16	7	14	14	181
		女	25	26	28	29	26	26	29	28	27	13	22	24	303
		合計	42	43	43	47	43	41	44	44	43	20	36	38	484

(注 1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出しています。

要介護度別利用者数（スケジュール）

令和 4年度 延人数

適	要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
適	非該当	男													
		女													
		合計													
適	事業対象者	男													
		女													
		合計													
適	要支援 1	男													
		女	1	3	1	4	2		3	3	3			3	23
		合計	1	3	1	4	2		3	3	3			3	23
適	要支援 2	男	13	13	11	14	14	7	11	13	11	1			108
		女	13	9	8	9	8	3							50
		合計	26	22	19	23	22	10	11	13	11	1			158
適	経過的要介護	男													
		女													
		合計													
適	要介護 1	男	29	29	26	30	39	36	36	39	34	1	48	50	397
		女	39	53	49	48	52	36	56	58	52	1	49	53	546
		合計	68	82	75	78	91	72	92	97	86	2	97	103	943
適	要介護 2	男	41	41	58	52	25	31	37	36	29	8	23	37	418
		女	90	98	98	102	75	49	93	106	106	6	66	73	962
		合計	131	139	156	154	100	80	130	142	135	14	89	110	1380
適	要介護 3	男	9	17	17	17	27	31	42	43	36	8	40	49	336
		女	72	79	80	90	94	76	102	98	100	7	70	78	946
		合計	81	96	97	107	121	107	144	141	136	15	110	127	1282
適	要介護 4	男	45	31	32	26	24	22	25	26	24		19	22	296
		女	35	34	40	32	46	34	36	31	30	2	6	26	352
		合計	80	65	72	58	70	56	61	57	54	2	25	48	648
適	要介護 5	男							5	8	9		12	8	42
		女	4	4	5	4		3	4	4	5		2	5	40
		合計	4	4	5	4		3	9	12	14		14	13	82
	総合計(人)	男	137	131	144	139	129	127	156	165	143	18	142	166	1597
		女	254	280	281	289	277	201	294	300	296	16	193	238	2919
		合計	391	411	425	428	406	328	450	465	439	34	335	404	4516

(注 1) 該当月末日時点で有効な要介護度より算出しています。

利用者平均要介護度

適	項目	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
適	平均要介護度	男	2.5	2.5	2.5	2.4	2.3	2.2	2.5	2.5	2.5	2.1	2.8	2.8	2.5
		女	2.3	2.2	2.3	2.3	2.3	2.5	2.4	2.4	2.3	2.5	2.5	2.5	2.4
		平均	2.4	2.3	2.4	2.3	2.3	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	2.6	2.6	2.4

(注1) 該当月末日時点の有効な要介護度より算出しています。(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しています。

年 間 行 事 表

デイサービスセンターきしがわ園

	行 事	場 所	実 施 日
4月	書道デッサン	デイフロアー	4日、5日、6日
	お花見会	デイフロアー	13日
	介護体操	デイフロアー	中止
	クラフト	デイフロアー	14日、15日、16日、18日、19日、20日
5月	書道デッサン	デイフロアー	5日、6日、7日
	介護体操	デイフロアー	中止
	クラフト	デイフロアー	30日
	脳トレ体操	デイフロアー	3日
6月	クラフト	デイフロアー	17日、20日、22日、25日、28日、30日
	介護体操	デイフロアー	中止
	書道デッサン	デイフロアー	6日、7日、8日
	脳トレ体操	デイフロアー	3日
7月	書道デッサン	デイフロアー	4日、5日、6日
	介護体操	デイフロアー	中止
	クラフト	デイフロアー	25日～30日
	七夕まつり	デイフロアー	7日
8月	夏祭り	デイフロアー	24日、25日、26日
	書道デッサン	デイフロアー	8日、9日、10日
	介護体操	デイフロアー	中止
	移動ショッピング	玄関前	2日、5日、16日、19日
9月	クラフト	デイフロアー	1日、4日、11日、15日、18日
	書道デッサン	デイフロアー	5日、6日、7日
	介護体操	デイフロアー	中止
	移動ショッピング	玄関前	2日、13日、16日
10月	敬老会		19日
	書道デッサン	デイフロアー	6日、7日、8日
	介護体操	デイフロアー	中止
	カラオケ大会	デイフロアー	コロナ予防の為、中止
11月	移動ショッピング	玄関前	11日、14日、25日
			28日
	クラフト	デイフロアー	24日、26日、28日、29日、30日
	運動会	デイフロアー	16日、17日、18日
12月	介護体操	デイフロアー	中止
	書道デッサン	デイフロアー	7日、8日、10日
	クラフト	デイフロアー	12日～17日
	クリスマス会	デイフロアー	24日
1月	年納(歌唱会)	デイフロアー	コロナ予防の為、中止
	クラフト	デイフロアー	クラスターの為、営業中止
	書道デッサン	デイフロアー	クラスターの為、営業中止
	新年会	デイフロアー	クラスターの為、営業中止
2月	介護体操	デイフロアー	クラスターの為、営業中止
	移動ショッピング	玄関前	クラスターの為、営業中止
	節分(豆まき)	デイフロアー	3日
3月	書道デッサン	デイフロアー	9日、10日、11日
	クラフト	デイフロアー	6日、7日、8日
	移動ショッピング	玄関前	3日、14日、17日
			28日
3月	書道デッサン	デイフロアー	6日、7日、8日
	クラフト	デイフロアー	20日～25日
	カラオケ大会	デイフロアー	コロナ予防の為、中止
	移動ショッピング	玄関前	3日、14日、17日
			28日、31